

# 令和5年度第1回神奈川県観光審議会議事概要

(令和6年2月26日(月)～3月4日(月)開催)

書面形式の開催とした。

## 議題1：第5期神奈川県観光振興計画における指標の状況について

KG Iである観光消費額総額等の数値目標について、2022年の実績値を報告した。

### <主な意見等>

#### 【KG I（数値目標）および参考指標について】

- ・ 旅行支援等の助成成果による影響も勘案されたい。
- ・ 達成率の低い「外国人延べ宿泊者数」についての対策を検討いただきたい。
- ・ 消費額や消費単価の評価について、昨今の円安の状況や物価上昇など、それらの集計分析に関わる環境/状況の変化を捉え、その影響の精査をお願いしたい

#### 【満足度・再来訪意向（その他参考指標）について】

- ・ 継続して実施している全県調査共に、今後は7つのエリアごとの調査を実施・公表し、エリアごとの観光戦略に結び付ける必要があると考える。
- ・ 数値だけでなく「どこが良かった」「再来訪したい理由」の分析ができると良い。

## 議題2：その他

令和6年度当初予算における観光関連の主要事業について、令和6年度当初予算案附属資料をもって報告し、本県の観光振興の推進に当たり意見を伺った。

### <主な意見等>

#### 【地域・関係者連携について】

- ・ オーバーツーリズム対策として、箱根の混雑状況などの情報発信やデータによる人流分析を活用し、住民、観光客、事業者が良かったと思える施策を望む。
- ・ 国際園芸博覧会の開催について県内全体によく周知し、開催地周辺の市としっかりと連携する事が必要である。
- ・ 複数の調査を実施するにあたっては、県の観光施策において、それぞれの調査がどのような役割を果たし、どういった施策につながっていくのか全体像を整理した上で進めていくことが重要。
- ・ 富裕層向けコンテンツやMICEに関するワンストップ窓口の機能を、かながわDMOに持たせ、補助することは、それらテーマに関する訪日旅客を増加させる上で、効果的な取組と考える。
- ・ 「観光により地域が輝く神奈川」実現のためにも、県下の各自治体の観光MICE振興組織との協調が不可欠である。

#### 【施策関連について】

- ・ 海外市場別観光プロモーション事業費について、観光レップを通じて観光情報の収集やセールス等を行うとあるが、外国人インフルエンサーによる情報発信も検討いただきたい。
- ・ 羽田空港利用者のトランジットツアーや横浜港寄港時等を活用したツアーなど検討いただきたい。
- ・ 神奈川県は知名度の高い地域とそれ以外の差が大きいことを課題ととらえ施策を検討いただきたい。

以上